

かほく ワークシート

日本では誰もが平等に教育を受けられる権利が定められていますが、世界では教育を受けられない女子が、大々多くいることに驚かされます。女子教育の向上に向けて一生懸命に

から 出題者

取り組もうとするマララさんについての図書がいくつもありますので、ぜひ読んでみてください。
 (日本新聞協会NIEアドバイザー
 ・宮城県図書館主幹 坂本謙)



国際女性会議のパネルディスカッションで発言するマララ・ユスフザイさん
 11月23日、東京都内のホテル

た後は、同国の大学に通いながら、女子教育向上への取り組みを続けている。

マララさんは、世界で学校に通うことができない約1億3千万人の女子の立場を代弁しているとした上で、教育への投資が不十分だと指摘。全ての人への教育確保を掲げた、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成が「残念なことになり遅れている」として、各国指導者らの協力を求めた。

一方、会議に先立ち22日に開かれた安倍首相との夕食会で、アボカドと勘違いしてわさびを食べてしまったとのエピソードを披露すると、満員の会場は笑いに包まれた。

講演の後は、女性として初めてチリの大統領を務めたバチエレ国連人権高等弁務官らとパネルディスカッションに参加。発展途上の女性らが先端技術の恩恵を受けられていないとされる問題について「誰もが平等に権利を行使できる社会を目指すべきだ」と述べた。

史上最年少の17歳で2014年にノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん(17)が23日、東京都内で開幕した国際女性会議「WAW!」で基調講演し、貧困や紛争を防ぐための女子教育の重要性を訴え「われわれの指導者は女子教育に投資しなくてはならない」と述べた。マララさんの来日は初めて。

同会議に出席した安倍首相は「20年までに少なくとも400万人の途上国の女性に質の高い教育の機会を提供する」と話し、発展途上国の女性教育拡充に貢献する考えを示した。

マララさんは母国パキスタンでイスラム武装勢力による少女らへの抑圧を告発し、12年に武装勢力から銃撃された。英国で治療を受け回復し

「女子教育に投資を」マララさん講演

問題

- ① マララさんが史上最年少の17歳で受賞したのは、何という賞でしょうか。
- ② 世界で学校に通うことができない女子は、何人いると言われているでしょうか。

(小学校中・高学年/朝の会)

4月28日 付ワークシート回答

- ① マララさんが史上最年少の17歳で受賞したのは、何という賞でしょうか。
(ノーベル平和賞)

- ② 世界で学校に通うことができない女子は、何人いると言われているでしょうか。
(約1億3千万人)